

予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く21人の議員で構成、委員長は菊池民彌議員、副委員長は浅沼幸雄議員）は、条例4件、予算9件、その他3件について付託を受けて2日間の審議を行いました。
今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑がなされました。その結果、全16議案が原案のとおり可決されました。

「看護保育」安心
サポート事業について

問 看護保育安心サポート事業の内容は。

答 子供が病気の時に保護者に代わって子供の世話をすることによって、就労と子育てを支援する。これは県立病院からの提案で、病児、病後児はすぐに保育所等に授けられないので一時的に保育支援するものである。

問 体制と規模は。

答 県立病院の独身寮の中に保育園をやっていた場所があるが、現在使われていない。そこをリフォームして使用する。運営は保育協会に委託し、3人体制で進める。

問 整備費は1,900万だそうだが、規模が拡大された場合は。

答 県内を視察したが、規模が拡大された状況は多く存在していない。

女性特有のガン検診
推進事業について

問 女性特有のガン検診は、米英では70〜80%受診、

日本は約14%のマンモグラフィ受診率だが、遠野市の乳がん検診と子宮頸がん検診は。

答 平成20年度で子宮頸がん検診は、18.2%、乳がん検診は23.9%と

なっている。

問 今度の事業で無料クーポン券が配布されるが、受診率向上に向けての対策は。

答 保健推進員を通じて無料クーポン券を配布し、市の検診が9月24日からスタート10月25日まで開催されるので受診をお願いしたい。

問 どのくらいの受診率アップと見るか。

答 他市町村の例を見ても、例年の受診率よりは伸びている。

地域連携雇用創出
事業費の増について

問 事業費が1,465万円増えた中身は。

答 福祉関係の保育士・市の臨時職員・グリーンツーリズム・コミュニティビジネス関係臨時職員・農業関係者の研修等である。

問 前回雇用した市臨時職員は継続か、また改めて雇用するのか。

答 今回の創出事業の市臨時職員は新たに雇用する。

問 前回の臨時職員は離職し、再就職していない状況。今後の雇用対策は。

答 緊急雇用の性質上、多くの方を採用する要件があり、継続して雇用できない。今後はふるさと雇用で新たに対応していく。

ブルーベリーの
振興について

問 市内では、7〜8年前から栽培面積が増え始め、

その後も順調に推移しているものと認識している。加えて2〜3年前から民間資本による、大規模なブルーベリー園の造成が始まっているが、既存の農家と民間会社を有機的に組み合わせ、遠野産ブルーベリーを

全国に通用するブランドにはできないか。

答 生産量や生産額も順調に伸びてきており、これからの有望な作目であると考えている。個々の農家と民間資本との連携を図りながら、遠野産ブルーベリーとして全国に発信していく。



河川一斉清掃の様子